

「朝のリレー」を読もう

《めあて》詩を繰り返し読み、好きな部分にぴったりする読み方を見つけよう。

1 「朝のリレー」を視写しよう。※書き写すことを「視写」といいます。

学習指導要領の指導事項を確認し、生徒が学習の見通しを持てるような「めあて」を設定します。

音読や朗読は感染を防ぐ観点から、授業での実施が難しいことが予想されます。課題にすることで、朗読の機会を意図的につくるなどの工夫が考えられます。

2 視写した詩を、声に出して読んでみよう。

3 詩の中に出てくる地名を社会科の地図で調べて、左の地図に書き込みましょう。



生徒に覚えてほしい学習用語についても取り上げます。その際、どの生徒も理解できるよう、丁寧な解説や具体例を加えることが大切です。

①経度と緯度^{いど}を地図帳で確認しよう。
(家に地球儀のある人は、地球儀で確認するのもよいですね。)

②あなたが眠りにつくときに、目覚まし時計のベルが鳴っていきそうな都市を地図や地球儀で調べてみよう。

(例えば日本が2時のときロサンゼルスは6時ですね。)

4 「表現技法」を見つけよう。

* 強調したり、感動を高めたり、余韻を残したり、調子をととのえたりするために、特別にもちいられる文章表現の技(わざ)・工夫のことを**表現技法**といいます。

①「対句」となっている部分に波線を引こう。

* 「**対句**」とは

↓形の似ている語句や意味の似ている言葉を並べてリズムを整え、印象を強める。

(例) 山川に山がはの音、
からまつにからまつのかぜ。

5 詩の中で、「最も好きな部分」あるいは「心に響く部分」を見つけましょう。

①回る地球を思い浮かべながら、視写した詩をもう一度音読しよう。

②詩の中で、「最も好きな部分」あるいは「心に響く部分」に線を引こう。

③線を引いた部分を選んだその理由を、友達に伝えるように書いてみよう。

指導事項「構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつ」に関わる各自の考えを記録する欄を設けています。

※ 線を引いた部分を読んだときに、どんな気持ちになったか、どんなことに気づいたかなどを友達に伝えてみよう。

6 自分の思いを伝えるために、線を引いた部分を音読するときには、どのような工夫をしたいですか。いろいろな読み方を試して、ぴったりくる読み方をさがしてみよう。

- (例)
- ・明るくはざむような声で読む
 - ・落ち着いた声で読む
 - ・みんなに呼びかけるように読む
 - ・力強く読む

- ・ () という言葉が大事だと思うので、その言葉の前で間を空ける
- ・ ゆっくり読む
- ・ 速く読む

*例の言葉を使ってもよい

私が好きな(私の心に響く)部分をこんなふうに読みたい。

指導事項「構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつ」に関わる各自の考えを記録する欄を設けています。

7 読む練習をした後で、家の人の前で音読しよう。

(この詩に合う写真や映像を見せたり、BGMをつけたりすると楽しいです)

①家の人の感想や、音読を聞かせたときの感想を書こう。

家庭環境などにも配慮し、全員が記入できるようにします。(この場合、おうちの方の直接記入、自身で記入のどちらでも可能です。)

8

《めあて》をもう一度確認し、ここまでの学習を振り返りましょう。

①「最も好きな部分」「心に響く部分」にぴったりの読み方ができましたか。

- () できた
- () もう少し工夫できそうだ

②最初の音読と最後の音読(家の人に聞かせた音読)にどのような違いがあったと思いますか。

★先生から

作成したレポートに対する教師のフィードバックや生徒自身による学びの振り返りの記録など、家庭学習の成果を児童生徒に自覚させ、次の学習や指導に生かしていくことが重要です。そのため、「先生から」で取組の成果等を評価することも大切になります。

学校の授業と同様に、めあて(指導事項)に対する振り返りを生徒に促します。